

みずほCustomer Desk Report 2023/02/24 号 (As of 2023/02/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	134.95	1.0608	143.14	1.2048	0.6812
SYD-NY High	135.37	1.0628	143.51	1.2075	0.6842
SYD-NY Low	134.48	1.0578	142.57	1.1993	0.6783
NY 5:00 PM	134.68	1.0594	142.70	1.2018	0.6808

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,153.91	108.82	日本2年債	-	-
NASDAQ	11,590.40	83.33	日本10年債	-	-
S&P	4,012.32	21.27	米国2年債	4.7026%	0.0062%
日経平均	-	-	米国5年債	4.1152%	▲0.0480%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.8895%	▲0.0359%
シカゴ日経先物	27,235.00	195.00	独10年債	2.4660%	▲0.0450%
ロンドンFT	7,907.72	▲ 22.91	英10年債	3.5840%	▲0.0160%
DAX	15,475.69	75.80	豪10年債	3.8920%	0.0440%
ハンセン指数	20,351.35	▲ 72.49	USDJPY 1M Vol	13.00%	0.29%
上海総合	3,287.48	▲ 3.67	USDJPY 3M Vol	12.32%	0.15%
NY金	1,826.80	▲ 14.70	USDJPY 6M Vol	11.56%	0.07%
WTI	75.39	1.44	USDJPY 1M 25RR	▲1.24%	Yen Call Over
CRB指数	266.94	0.84	EURJPY 3M Vol	11.60%	0.13%
ドルインデックス	104.60	0.01	EURJPY 6M Vol	11.19%	0.01%

アジア	アジア時間のドル円は134.95レベルでオープン。前日NY時間終盤に135円手前での上値の重さが確認されたこともあってか、午前中に一時134.71レベルまで弱含むも、午後にかけて134.80台まで戻し134.84レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.84レベルでオープン。東京市場が休場につき方向感の出にくい展開。135円を挟んでもみ合い、134.97レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	祝日で東京市場が休場で取引閑散となる中、海外市場のドル円は134円台後半で方向感なく推移。早朝は米長期金利の上昇にサポートされ、135.07まで上昇後、134.97レベルでNYオープン。朝方は第4四半期の米コアPCE(改定値)が予想を上回ったことが伝わり米金利上昇とともにドル円は買いで反応。米失業保険の新規申請件数や継続受給者も予想以上に強い内容だったこともあいまって一時135.37まで上昇。しかし、米10年債利回りが心理的節目の4%手前で伸び悩んだほか、24日東京時間に予定されている次期日銀総裁候補の植田氏の所信聴取を控える中、ドル円の買いは長続きせず、再び134円台後半まで反落。午後は米長期金利の低下幅拡大を眺めながら売られ、安値134.48をつける。終盤は小幅値を戻し、134.68レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台前半でスタート。1.0628上昇する場面もあったが、その後は米金利上昇が重しとなり、1.0586まで反落。早朝はユーロ円の上昇につれ高となり、1.0616レベルでNYオープン。朝方は米長期金利が4%に迫る動きを眺めながら売りが強まり、さらにユーロ円の反落が重しとなったことから1.0578まで下落。売り一巡後、1.0600手前まで買い戻された。終盤は小動きとなり、結局、1.0594レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・木村

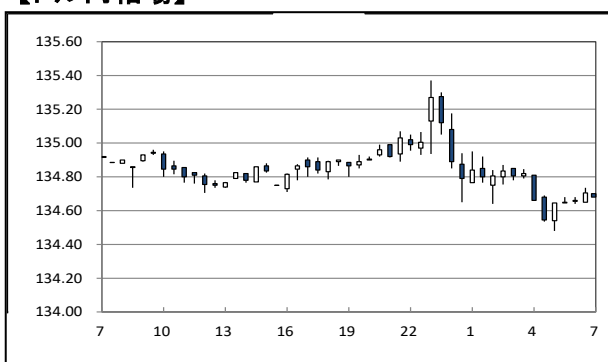
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月22日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	1月 1.0%/8.7%	1.0%/8.7%
	18:00	独 IFO企業景況感指数	2月 91.1	91.2
	18:00	独 IFO(現況/期待)	2月 93.9/88.5	95.0/88.4
2月23日	04:00	米 FOMC議事録	数人が50bpの利上げを支持	
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	1月 8.6%/-0.2%	8.6%/-0.2%
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	1月 0.23	-0.25
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q S 2.7%	2.9%
	22:30	米 個人消費	4Q S 1.4%	2.0%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q S 4.3%	3.9%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	18-Feb 192k	200k

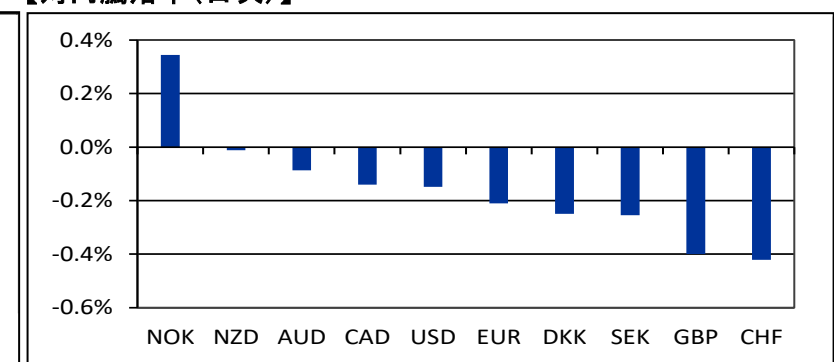
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月24日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	1月 4.3%/4.3%/3.3%	4.0%/4.0%/3.0%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	2月 -43	-45
	09:30	日 衆議院議会 植田日銀総裁候補所信聴取	-	-
	16:00	独 GDP(前期比)・確報	4Q -0.2%	-0.2%
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	1月 0.5%/5.0%	0.1%/5.0%
2月25日	00:00	米 新築住宅販売件数	1月 620k	616k
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 66.4	66.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.80-135.80	1.0550-1.0710	141.50-144.00

【マーケットインプレッション】

22日・23日のドル円は135円に乗せる場面があるも滞空時間は短く134円後半を中心としたレンジ推移となった。22日は日経平均の冴えない動きや、ブロードセントリス連銀総裁のハト派発言を眺めつつNY時間に134.38レベルまで下落。しかし、そのFOMC議事要旨(1/31-2/1開催分)が公表され、数人の参加者が50bp利上げを支持していたことなどが判明すると米金利上昇に伴ってドル買いも戻りドル円も134.99まで上昇する展開となった。23日は本邦休場の中、134円後半を中心として方向感なく推移するも、NY時間の米経済指標の堅調結果を背景としてドル買いが進み、一時135.37と約2カ月ぶり高値まで急伸。しかし、買い一巡後は本日主要イベントを控えた警戒感もあり急速に134円台まで戻すと、ロスカットも巻き込みながら一時134.48レベルまで沈んだ後134.68レベルでのNY引けとなった。本日は、朝から本邦1月全国CPIの発表や植田日銀総裁候補への所信聴取、また海外時間には米1月個人所得・支出、同1月PCEデフレーター等重要指標を複数抱えイベントドリブンで乱高下が想定される。FOMC議事要旨や米経済指標の堅調結果も含め目下FRBの早期利上げ停止観測が後退しドル買い材料が増えるも、依然135円台の滞空時間は短く下方へのリスクをみる市場心理は継続。ノーサプライズに終われば市場は安心感を強め、腰を据えた円売り・ドル買いに135円台定着が想定されるものの、不確定要素が多いだけに容易ではなく、ヘッドラインには十分注意したい。